

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和5年度第5回高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和6年2月8日(木) 14時00分～15時00分
開催場所	防災合同庁舎3階 302会議室
議 題	次期高松市行財政改革計画(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記の理由	
出席委員	溝渕委員、竹内委員、植原委員、大美委員 曾根委員、田井委員、野村委員、松本委員
傍 聴 者	2人 (定員 5人)
担当課及び 連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

### 審議経過及び審議結果

次の議題について協議した。

#### (1) 次期高松市行財政改革計画(案)について

<主な質疑等>

(委員)

次期高松市行財政改革計画で設定されている「目指す姿」とは、いつを想定したものなのか。今後、急速に変化していくであろう人生100年時代に向けて、少し先の将来を見据えた計画が必要ではないか。

(事務局)

将来の大きなビジョンや理念については、高松市総合計画で示している。それを具体化する個別の内部計画が行財政改革計画という位置づけになっており、行政事務の進め方に着目したものになっている。「目指す姿」は、次期高松市総合計画の策定期間の8年後を想定している。

(委員)

実施項目一覧に局ごとの実施項目数の記載があるが、各局に紐づく実施項目が分かりづらいので掲載の仕方を工夫していただきたい。また、高松市総合計画と行財政改革計画の関連性も見えるよう工夫していただきたい。

(事務局)

記載の仕方について検討したい。

(委員)

成果指標と目標値について、数字で示された目標のうち、手続き件数等は成果が分かりやすいが、財政指標は、目標に達した場合の成果が分かりづらい。

(事務局)

財政指標が目標に達した場合の明確な成果については、計画上に示していないが、目標値は実現可能な数値設定を行っており、更に目標数字を上回る内容にしていかなければいけないと考えている。

(委員)

これまでも限られた財源を効率よく循環させるために、多様な主体との連携・協働を進めており、今後もより協働等が必要と考えるが、例えば委託業務等において、委託内

容と委託金額が見合っているか、内容を把握、精査し、その実態に合わせて事業を見直すなど、適宜見直しを実施していくことが財源の効果的な配分につながると考える。

(事務局)

委託においては、成果連動型という実績に基づいたやり方などもあると認識している。具体的に検討している訳ではないが、そういった視点を今後の計画を進めていく中で取り入れていく可能性はあると考える。

(委員)

今、当たり前にある行政サービスがなくなる緊急度はどれくらいなのか。

また、計画案を見た際、他の市町の計画等と代わり映えしない内容と感じたが、高松市の財政等の緊急度によっては、もう少し実情にあった方策を考えないといけないのではないか。

(事務局)

財政当局が示している中期財政収支見通しによると、数百億の財源不足が出るであろうとの予測が出ているが、各単年度でやりくりをし、予測値に至らないように努力してきており、今回の行財政改革計画の策定期間である4年間で逼迫する状態になることはないと考えている。しかしながら、財源不足の問題は、人口減少、少子超高齢化問題が大きく影響しており、既に待ったなしの状態に近づいてきていると認識している。

(委員)

先ほどの委託事業等の見直しなど、分野ごとに実施している事業の在り方については、高松市総合計画、行財政改革計画のどちらの計画での検討になるのか。

(事務局)

行財政改革計画を含めた個別の計画の中での検討になる。

(委員)

プロジェクトを組んで組織的に動くことを目指しているが、組織としての連携がとれていない。内容を把握して、統括するチームがあってもよいのではないか。

(事務局)

市の組織は縦割りとも言われ、専門的に役割を決めて進められる一方で、近年、局をまたぐような課題が非常に多くなってきており、組織内の横断的な取組は重要であると感じている。そのため、来年度からは、組織機構の見直しを行い、組織横断的な課題を統括し、全体をコントロールする政策局を設置するほか、各局長で構成する行財政改革推進本部会等を活用するなど、組織の連携強化を図っていくこととしている。

(委員)

実施項目の数値目標における4年後に到達したい目標値の設定はどのように設定されたのか。

(事務局)

各所管課が目標を設定しており、項目ごとに設定の仕方が異なっているが、実現可能な数値の設定を行っている。

(2) その他(今後のスケジュールについて)

次期高松市行財政改革計画案について、2月19日(月)から3月20日(水)までパブリックコメントを実施し、その意見等を反映して策定する予定としている。